

羽田会長 新年の挨拶



あけましておめでとうございます。

同窓会の二年間の活動を振り返ってみます。この期間の目標は1. 組織の基盤を確立する。2. OB会と同窓会の二つを一本化する。3. 支部の活動を活発化する。が主な課題でした。これらは斉藤副会長の陣頭指揮と皆さんの協力で概ね達成されたと思います。ありがとうございました。

今期は根付いてきた支部活動を更に活発化する、同窓会への入会生を増やすこと、また寄付金制度を作り、現役部員への支援を行う。更に同窓会ニュースを通じて会員や現役との交流を盛んにすることを念頭に活動したいと思っています。

ところで、世界の情勢が激動の世の中になってきました。引退した同窓生にも影響が出てきます。年金が減り、医療費負担が増えます。企業など現役で働いている人々はもっと大きな心配があります。リストラ、倒産、減益による個人へのしわ寄せなどです。また現役生は就職に関する悩みなどです。ご本人では健康問題、両親のケアなどです。

というわけで悩みの無い人はいないと思います。こういう時は過ごし方が大切です。悩んでもことは解決しません。同窓会の活動を辞めても解決しません。まず現実を受け、逃げないで対処することが肝要です。悩みは人間であれば全員が負っているのだから、自分だけを責めたりしないこと。与えられたことを毎日一步一步実行すること。そして大事なことは常に「笑顔」で接し、楽しいことを連想して「明るく」過ごしていくことではないでしょうか。

皆様のご多幸、ご健康を心から祈願して、近いうちにお会いできることを楽しみにしております。
(同窓会会長 羽田 克己)

<本部便り> 総務委員会報告

(1) 総務委員会の活動と今後の予定

総務委員会の今後の主な予定は次のとおりです。皆様のご協力をお願いいたします。

広報委員会と協力し同窓会ニュースの発行

今年度の同窓会会費納入依頼

2月半ば頃、各会員宅へ郵送、年額2000円(夫婦会員2000円)

世代別委員会と協力し同窓会会員の住所録の整理と未登録者の解消

パソコンのメールアドレスの管理と登録の促進

現役クラブと連携し、定期演奏会や合宿への差し入れ、卒業生の住所登録、楽器購入の助成

次期定期総会に向けての諸準備

(2) 現役の皆さんの活動紹介

本部長萱沼菜々子さんの定期演奏会あいさつ文から抜粋

本日(定期演奏会)を迎えられたのも-略-ここまでの歴史を築いてくださった先輩を

始めとする活動を支援して下さい皆さんのおかげだとひしひしと感じています。-略-

平日は各自の自主練習、週末は松本キャンパスに全員集まり合同練習ということが当たり前のようにこなしてきましたが、その背景には一人一人の苦悩があり、それを乗り越えるための日々の努力からなりたってきました。以下略

- ・部員数 58名(内新入部員14名)
- ・春合宿 6泊7日 高遠
- ・5月 新人生歓迎会
- ・夏合宿 7泊8日 志賀高原

第54回信州大学マンドリンクラブ定期演奏会パンフより(総務委員長 鶴見 健二)



第54回定期演奏会
2016年11月6日
(日)長野ホクト文化ホール



夏合宿(定期演奏会会場のパネルより)
中段左より1年生、4年生、3年生、2年生
下段左より4年生の演奏場面、全員集合、ベースパート

<本部便り> 事業委員会の活動状況および今後の計画

当面の事業委員会で企画する事業としましては、2年毎に開催する定期総会に合わせた演奏会と5年後に行なう60周年記念祭での演奏会があります。

定期総会での演奏会は、次回は来年の6月ですので、今年の後半から計画する予定です。また、60周年記念演奏会につきましては、昨年準備委員会(事業委員+各支部代表3名)を設立し、それについてのアイデアを出してもらっているところです。このアイデアを基にして、2月の役員会で概要を決め、更に準備委員会で詳細を詰めて、来年6月の定期総会で発表する予定です。

前回の50周年記念演奏会では53名の同窓会員が演奏に参加したのですが、60周

年では 1.5 倍の 80 名を目標にしたいと思っています。

その為の一環として、各支部の演奏活動を盛んにし、参加者を増やして行くのも事業委員の役割と考えております。まだ演奏活動に参加されていない方、是非一緒に合奏を楽しみましょう。
(事業委員長 金井 正広)

<本部便り> 広報委員会の活動状況および今後の計画

広報委員会の昨年の主な活動は、ホームページではセキュリティ強化を主な目的としてバージョンアップを行いました。同窓会ニュースでは、会長及び各役員からの情報を受け、総務委員会と協同して No.13～15 号を発行しました。ホームページと同窓会ニュースには、総会や合同演奏会などの本部活動と支部総会や支部独自の活動などを中心に掲載してきました。ホームページと同窓会ニュースは記事が重複することもあります。特にホームページはリアルタイムに情報が伝えられることや、動画や音声に掲載できますので、この強みを生かして活用していこうと考えています。一方、同窓会ニュースの良さは何ととっても、パソコンやスマホを使わなくても同窓会の情報が見られることですので、年 4 回程度の発行を目指して継続していきたいと思えます。

昨年 12 月には、ホームページの新しい企画として、**リレーコラム "人生のあゆみ"**を開始しました。これは、信大マンドリンクラブのメンバーが、卒業後社会に出て、経験したこと、活動したことなど自由に記事を書いていただき、同窓会の皆さま、現役生の皆さまの今後の人生を歩んでいかれる参考にしていただこうという企画です。

今回、会長をはじめ 3 名の方の記事を掲載して開始しましたが、今後、リレーコラムとして逐次掲載していきますので楽しみにしてください。そして、『私も書きたい。』という人が大勢出てきてくださいますようお願いいたします。投稿して下さる場合は支部長にご一報ください。

コラムを参照されるには、ホームページの「会員ページへ」からログインし、リレーコラム "人生のあゆみ" を開いてご覧ください。
(広報委員長 水上 明)

<本部便り> 世代別委員会から「酉年に思うこと」

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはご家族お揃いで佳き年を迎えられたことと思えます。

新生した信州大学マンドリンクラブ同窓会は本部の下に甲信越、東日本そして西日本の 3 支部を置き、同窓会会員相互の親睦を図ると共に現役生への支援そして地域社会へのボランティア活動を展開しています。この様な活動を進めるに当たっては、本部役員並びに支部役員そして会員各位の並々ならぬ平素からの活動が板についてこそ出来るものであります。そうした中で私の属する世代別委員会は世代間での同窓会に関する“情報の共有化”を図り、一人でも多くの会員の同窓会活動への参加を呼び掛けるところにあります。

この一年間を振り返り世代別委員会がこのような活動が出来たのかな？と考えると決して十分寄与したとは言えないように感じています。社会では労働人口の確保が困難な状況にあり定年も 60 歳から 65 歳へと引き上げられ、労働年齢は更に伸びて行く傾向にあるかと思えます。こうした中で同窓会活動へ参加することは時間的に難しい面もあるかと思えますが、ほんの少し時間的にゆとりが出来た時に“顔を出してみようかな？”と思えるような同窓会活動に行きたいと思えます。

そのために、会員各位への情報提供を本部、支部からだけではなく世代別委員会からも積極的に行い、会員同士の親睦を図れるようにこの一年を務めて行こうと考えています。
(世代別委員長 小川 英治)

<支部便り> 甲信越支部より新年のご挨拶を申し上げます

明けまして おめでとうございます

1月18日、上田市の林次信さん宅にて今年初めての練習会を兼ねて、今年の活動について話し合いをしました。昨年の甲信越支部の活動は1月の「長野県食健連・更埴地区食健連主催のTPP関連の講演会」での演奏に始まり、6月の「第2回SUMC同窓会の定期総会」、11月の「真田十勇士ガーデンプレイス」、12月の「特養施設・あずみの里」等での演奏会と結構活発に活動したように感じています。

なお、「真田十勇士ガーデンプレイス」(写真)と「特養施設・あずみの里」での演奏会については、SUMC同窓会のホームページに掲載してありますので、ご覧下さい。



今年はSUMC同窓会本部の定期総会が無い年度ということで「甲信越支部の総会を行う年」です。予定は6月24日(土)松本市内ということになっています。当然、この席では来年の本部定期総会での演奏に向けての練習を

兼ねて、甲信越支部としては新しい曲、サンサーンスの「白鳥」とコンラッドヴェルキの「帰郷(ハイムライゼ)」に取り組みます。甲信越支部全体としての練習日時、会場等が決まれば、別途ご案内をして参加者を募っていきますので大勢の方の参加をお願い致します。

また今年も昨年同様、地域貢献的な演奏活動にも積極的に取り組んでいこうということになりました。今年最初の演奏は3月5日(日)、地元(上田市)の温泉施設「うつくしの湯」が主催する音楽祭に演奏を依頼され、他の団体と共に演奏会を行うことに急遽決定しました。まずこんなところから、甲信越支部の活動を今年もスタートさせていきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

(甲信越支部長 日野 博明)

<支部便り> 東日本支部より 新年のご挨拶

会員の皆様 明けましておめでとうございます

ご存知のように、東日本支部は会員の中に地域のマンドリン・ギターの楽団、又は音楽団体に所属されている方が多くおられ、お互いの演奏会を聴くのも大きな楽しみになっています。この様な状況ですので、支部会員同士の演奏会は時間的に難しいのですが、年に1度は羽田会長邸での恒例の新年会で日頃磨いた腕を披露する場を設けています。今年は2月19日(日)に東日本支部恒例の新年会を開催します。本部役員会と併催となりますので、他支部の方々の参加も期待しています。

当支部会員の最近の演奏活動状況を写真でご紹介します。今年も共に頑張りましょう。

(東日本支部長 斉藤 学)



岩手県 フラメンコギター協会 菅原 肇

11月5日、第6回フラメンココンサートを上さくらホールで、観客230名のもと開催。踊りとギターソロ、合奏等、プロの円舞演奏を含めて総勢26名、18曲の演奏、和気あいあいと素晴らしく美しいですね *



イルマーレ・マンドリンクラブ

中村誠・美和 夫妻 水上 明

高野 洋之

2008年に発足、千葉市を拠点に活動

*4名の同窓会員 指揮の誠さん
も力が入ります *



クォーレ デル マンドリーノ

小川 英治・節子 夫妻

写真 2016年11月6日 裾野市
芸術祭での音楽祭

*此方も ご両人で頑張っておられますね *



マンドリン・ギターアンサンブル
ラ・フォレスタ

福永 敏彦

茨城県つくば市を拠点に活動

* 福永さんどこですかね 何しろ
これは昨年9月22日 つくば市
ノバホールにて開催のグランド・
コンサート2016 ですからね *



マンドリン・オーケストラ
アンサンブル・マール

松下 一昌

1983年に創設 神奈川県湘南
地区を中心に活動

*メンバーは、北は東北地区、南
は九州地区までの全国の大学での
経験者で構成されているそうです。
すごいですね! *



プレストマンドリンオーケストラ

長沢 鉄平

写真 江東区文化センターにて
第23回演奏会

*若くて作曲出来る方も活躍との
こと 将来が楽しみです *



クラシックギターアンサンブル
緑ギタークラブ

高野 洋之

1989年に3名で発足 横浜市あお
ば区を中心に活動

写真 2016年 アートフォーラム
あざみ野にて定期演奏会

*高野さん ギターの腕前も一流
とか! 見事ですな *



ギターサークル ハーモニックス
水上 明

1989年に発足 東京都三鷹市を
拠点に活動

写真 2014年 武蔵野市民文化会館
にて第26回定期演奏会(リハ)

*マンドリン合奏とギター合奏の
それぞれの良さを実感しています
*

<支部便り> 西日本支部より 新年おめでとうございます

今年の活動は、2月4日の新年会を兼ねた、恒例の弾き初めで幕を開けました。2017年の課題曲は、魔女の宅急便より「かあさんのホウキ」、 「風の丘」(久石譲作曲・中野薫編曲)、ポ - ル - モ - リア特集(中川信良編曲)、「凡ては去りぬ」(ラビトラ - ナ作曲)です。



定期的な合奏練習を始めて今年で5年目に入ります。年1回以上の成果発表の場をこれまで名古屋で行ってきましたが、今年は11月に大阪での慰問演奏会を計画しています。定期的な合奏練習(毎月第1土曜日の午後)に参加しているのは、現在10~15人で、西は姫路市から東は岡崎

市までと広範囲のため、練習場所は中京地区と関西地区とで交互に行っています。練習の後には、参加者で懇親会を行っています。中京地区だけ、あるいは関西地区だけの参加、又懇親会だけの参加も歓迎します。一度見学に来てください。今年の練習予定は以下の通りです。

- 3月 4日(土) 神戸市東灘区民会館
- 4月 1日(土) 名古屋市北区光城学区集会場
- 5月 6日(土) 神戸 or 京都
- 6月 3日(土) 名古屋市北区光城学区集会場
- 7月 1日(土) 神戸 or 京都
- 8月 5日(土) 名古屋市北区光城学区集会場
- 9月 2日(土) 神戸 or 京都
- 9月 18日(月) 名古屋市北区光城学区集会場 (敬老会イベント参加予定)
- 10月 7日(土) 名古屋市北区光城学区集会場
- 11月 4日(土) 神戸 or 京都
- 11月 下旬(月) 大阪府豊中市 (慰問演奏会予定)

(西日本支部長 伊東 義敏)

< 編集後記 >

新年早々にはニュース発行をと意気込み、多くの方々に原稿依頼してきました。しかし、怠慢な編集者(鶴見)により、発行が2月半ばになってしまいました。寄稿された方々には遅れたことを詫びいたします。またニュースを読んでいた方には、少々間があると感じられたと思いますが、それも我が同窓会ならではの「よくあること」だと受け止めていただければ幸いです。

学生時代も、試験日の前日によく試験勉強なるものを行った覚えがあります。いつも、「もう少し前から勉強をしていれば----」と後悔ばかり。高齢者になった今も、学生時代の悪しき習慣が根深く残っています。

ニュースを読んでいたいただいた感想はどうでしたか？

遙か遠い昔、舞台にあがり演奏しときのあの緊張感が伝わってきます。音楽の世界は、不思議な世界ですね。この後悔の記事もバックにマンドリン演奏した曲(丘を越えて/古戦場の秋など)を聴きながらテンポ良く、すらすら(?)と書いています。

(総務委員長 鶴見 鍵二)

東日本支部便りに、卒業生が現在所属されている社会人音楽団体の紹介がありました。他支部にも同様の団体がいくつもあると聞いていますが、大学を卒業して直ぐに社会人団体に所属された人もいれば、卒業後何十年か経って再び楽器を手にして楽団に飛び込まれた人もおられると思います。音楽を人生の友として歩まれていることでしょう。

また音楽の世界ではなく、別の分野に取り組まれているかたもおられることと思います。音楽でめぐり会った私たちですが、音楽だけではなく別の分野の話題を共有することができたら、親交の幅が広がりとても有意義だと思います。

ちょうど同窓会ホームページで新企画のリレーコラム「人生のあゆみ」がスタートしましたので、気楽な気持ちで寄稿文をお寄せくださるとありがたいです。寄稿していただく場合は、A4で2~3枚程度の文書を各支部長宛てメールでお送りください。

あるいは広報担当の水上まで直接メールで送付していただいても結構です。

水上のメールアドレスは、ak_mzkm@yahoo.co.jp です。よろしくお願いたします。

(広報委員長 水上 明)

以上